

## 交通/専門科目

科目名		サブタイトル	担当教員	配置学年	単位数
交通概論 A		交通の基礎知識を学び、 交通を考える	小宮 全ほか	1 年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	交通と社会, 交通と人間, 交通と技術・情報		
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力			
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける			
事前に受講するとよい科目		特になし			
講義の目的	本講義では、交通とは何かという問いについて、これから本格的に交通を学ぶ上で必要である基礎的な理論や、交通の歴史などを学習し、交通論の学びに親しんでもらうことが大きな目的である。それに加え、日常生活を送る上で、さまざまな交通に関する解決すべき課題、問題に直面すると思う、そうした課題や問題の解決策を考えてみようという意欲を掻き立てることも講義の目的である。				
到達目標	交通に関して、専門的に学ぶ上での基礎的な知識を身につける。				
講義内容	私たちの生活にとって身近であり、欠くことのできない交通・運輸について、現状をしっかりと理解することを通じて、交通にまつわる解決すべき課題や問題が浮き彫りになり、その解決策に興味を湧くだろう。この講義では、交通・運輸について専門的に学べるよう、交通についての基礎的な知識を学んでいく。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	交通と教育・ガイダンス	交通を学ぶ上で必要なこと		
	第2講	交通サービスの需要と供給	交通輸送サービスの特徴は何か		
	第3講	交通市場の理論	一般的な市場と交通市場の違いは何か		
	第4講	交通産業における価格決定	運賃や料金はどのようにして決まるか		
	第5講	交通の発展	交通の起源と前近代における各交通機関の発展過程		
	第6講	交通と近代化	近代以降の世界的な交通体系の形成		
	第7講	交通と文化	交通の影響を受ける文化/文化の影響を受ける交通		
	第8講	交通と医療・福祉	医療・福祉領域における交通の役割とは何か		
	第9講	交通とコンピュータ	交通と計算機としてのコンピュータの関係		
	第10講	交通とインターネット	交通と情報伝達の手段としてのインターネット		
	第11講	交通産業の働き方	変形労働時間制による勤務管理とは		
	第12講	安全と責任	無人機の倫理:「自動」と「自律」を問い直す		
	第13講	交通心理学	交通事故はどのようにして起きるか		
	第14講	交通技術史(1)	蒸気機関の誕生から高速大量輸送の時代へ		
第15講	交通技術史(2)	交通技術の発達と人間社会の変容			
指導方法	スライドを活用しながら講義を進める。本講義は、オムニバス形式の授業である。各教員の指示に従うこと。				
事前学習	オムニバス形式であるため、事前学習が必要になる回と不要の回がある。教員の指示に従うこと。必要になる場合は1時間程度を想定している。				
事後学習	具体的な事後学習方法については、各担当教員の指示に従うこと。1時間程度の学習時間が目安である。				
成績評価方法	本試験(レポート)50%、平常点(小テスト・レポート等)50%、計100%で成績評価する。教員毎に課題(レポート等)が出される。				
テキスト	特にテキストを指定しない。				
参考書籍	必要に応じて、授業内で紹介する。				
特記事項					